

# ENTERTAINMENT



『北欧女子オーサが見つけた日本の不思議』  
オーサ・イエークストロム／著  
KADOKAWA 2015年

日本のテレビアニメと漫画が好き過ぎて日本に移住したスウェーデン人漫画家の大人気ブログを書籍化。ベストセラーになったこの作品は4コマ漫画で読みやすく、絵のタッチも日本の漫画っぽく親しみやすい。

「日本大好き！」だけではなく、日本の問題点を指摘している箇所もあり、まさに異文化交流の大切さを教えてくれる。日本の当たり前は当たり前じゃなかった事を痛感。

実家に帰国した際に日本食に慣れすぎたせいでスウェーデン料理でお腹を壊したトホホなお話も…。

## 【関連本】

\*北欧女子オーサシリーズ\*

『北欧女子オーサが見つけた日本の不思議2～5』

『北欧女子オーサのニッポン再発見ローカル旅』

『北欧女子オーサ日本を学ぶ』

『北欧女子オーサ、日本で恋をする。』

KADOKAWA

「ユースフルエイジ (Youthful Age)」は YA世代に送る、本・漫画・映画・音楽などのおすすめ情報を掲載した渋谷区立図書館が発行する定期刊行物です。

YA(ワイエー)とは…  
Young Adult(ヤングアダルト)の略で、おおむね12歳から18歳までの人たちのことをさします。

## ユースフルエイジ

2023年8月・9月号【No. 15】

発行／編集 渋谷区立図書館

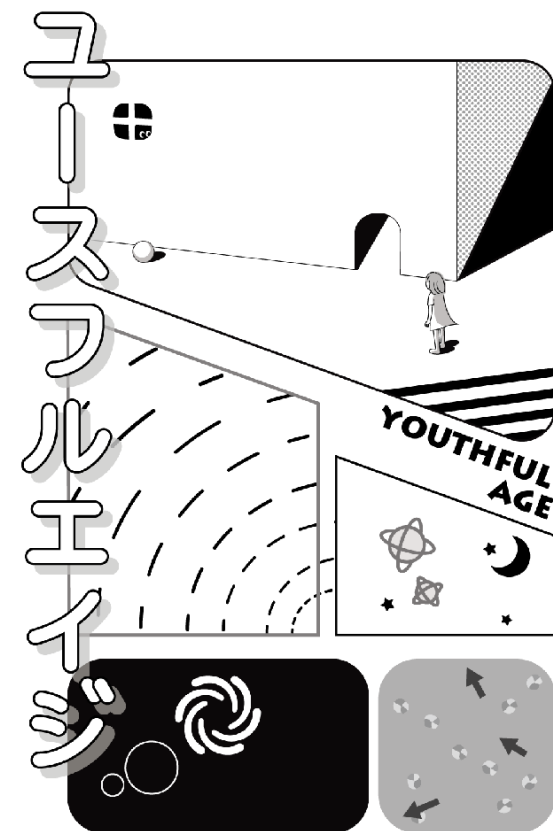
株式会社図書館流通センター

発行日 2023年8月

渋谷区立中央図書館

電話 3403-2591

住所 渋谷区神宮前1-4-1



8月・9月号

【No. 15】

SHIBUYA CITY LIBRARIES

Pick  
Up!

# Recommended books

## 異文化に触れる

国際社会に生きる君へ



『スクランブル交差点』  
佐藤 まどか／作  
小学館 2023年

外国人との交流は緊張しがちだ。言葉の違いだけでなく、自分の常識からは考えられない予想外の見解や行動をしてくるかもしれない。そんな目に見えない不安が行き交う「スクランブル交差点」を渡るのは勇気がいるだろう。しかし、この物語に登場するイタリアからの交換留学生マルコは、そんな不安は一切なく、大好きな日本文化に触れ、日本人々と明るく接し、日本とイタリアの交流を楽しんでいる。

一方、交換留学生を迎えた高校の柳田は、どこか消極的で人との摩擦を気にしていた。

ある時、マルコは消極的な柳田に「それ、生きてる感じ、ないです」と言ってしまう。対照的な2人の関係はどうなるのか。柳田の消極的な生き方を変えることはできるのか。

日常に変化を求める人にぜひ読んでもらいたい作品。



『星空ロック』  
那須田 淳／著  
あすなろ書房 2013年

ひとり旅をしたことはあるだろうか？ 自由気ままに動けるひとり旅は魅力的ではあるが、海外の知らない土地ともなると身構えるもの。この物語は中学生の主人公が友人との約束を果たすため、ひとりでドイツへ向かうお話。何かを始めようとしているけれど、あと一歩が踏み出せないあなたへ…。主人公の果敢な姿から勇気をもらえる一冊。



『翻訳できない  
世界のことば』  
エラ・フランシス・サンダース  
／著・イラスト  
前田 まゆみ／訳  
創元社 2016年

近年では、翻訳機の進化により多くの言葉を瞬時に母国の言葉に翻訳することが可能だ。しかし、優秀な翻訳機を使っても翻訳できない言葉がある。その国独自の文化により生まれた、他の国の言葉ではそのニュアンスがうまく表現できない「翻訳できない言葉」。あなたが共感できる言葉はいくつある？



『私の職場はサバンナです！』  
太田 ゆか／著  
河出書房新社 2023年

キリンの赤ちゃんはライオンの大好物！ 南アフリカで政府公認のサファリガイドとして活動している日本人の女性が、日々サバンナで起きている弱肉強食の戦いや、アフリカゾウからフンコロガシまで、そこに生きる様々な生物の生態を写真付きで紹介。丸ごと一冊サバンナの本。



『押絵と旅する男』  
江戸川 乱歩／原作 藤田 新策／画・文  
あすなろ書房 2023年

偶然同じ列車に乗り合わせたその男は、「あなたなら分かってくれそうだ」と言って一枚の押絵を私に見せ、ひどく奇妙な身の上話を始めた。しかもその男は…。江戸川乱歩の名作が藤田新策の画と文によって、さらに妖しく幻想的になった“大人の乱歩絵本”。

New!

## COLUMN

### 異文化を満喫

代々木公園の南側、道路を渡った先にある代々木公園イベント広場。この広場が毎週末、大勢の人で賑わっているのを知っていますか？  
賑わいの正体は世界各国のフェスティバル。ベトナムフェス、トルコフェス、ブラジルフェスなど、週替わりで色々な国がフェスを開催しています。ここに来ればその国の料理が楽しめるのももちろん、民芸品の販売や観光局による旅行案内、伝統的な儀式的疑似体験など、たくさんの異文化に触れることができます。野外ステージでは民族音楽の生演奏や伝統芸能のパフォーマンスもあり、それを楽しむ人たちが大盛り上がり。なかには土・日の二日間で来場者数が十万人を超えるような、国内最大規模のフェスもあります。